

あなたもお読みください
 真実つたえ希望はこぶ
 しんぶん 赤旗
 日刊 1カ月 3,497円
 日曜版1カ月 823円

手良民報

生活相談はお気軽に
 電話 78-0943 (高橋)
 08051428896 (大場美広)
 (毎月赤旗読者に配達)
 (民報のみは月100円)
 発行 日本共産党・手良支部

手良では継続していく方向が

手良地区協議会

今年初めての手良地区協議会が5月27日に開催されました。

地域協議会が地域の意見や要望をまとめ行政に反映させるため、法よりの認知された「行政の機関」であり、手良では又長、活性化促進会議、小学校PTA、保育園保護者会、消防、赤十字奉仕団、社会福祉協議会、交通安全協会、保健委員会、農業団体、商工団体、スポーツ関係団体の代表、識見者、公募委員の18名よりの構成されています。

初めての会議であったので

「よしの通信」16

安倍政権は「日本の夏を白く見よう」と

私は八月生まれで、夏が大好きです。

「日本の夏」を想う時、まず頭に浮かぶのが「平和の夏」という言葉です。

8月6日、9日のヒロシマ、ナカサキへの原爆投下、15日の終戦の日と続く8月は日本の歴史にとって忘れられない月です。

テレビなどでも戦争と平和をテーマとして取り上げる番組が多く放送されます。

そして、核兵器の廃絶をもとめ毎年取り組まれている「国民平和大行進」、「原水爆禁止世界大会」、全国各地で開かれる「母親大会」

委員、職員の自己紹介があり、会長に磐井博幸区長会長、副会長に有賀修司活性化促進会議会長を選任しました。

また今後の地域自治体制度の基本方針について市の総務部企画課地域振興係宮原貴敏さんよりの説明がありました。

旧伊那市地域の地域自治体では、総じて役割が曖昧で存在意義が見出せないことや既存の自治組織が活発で自主的な活動を行っており、地域協議会の役割を十分果たしているといった意見が出されており、こうした状況を受け、審

議会を設置して審議した結果、平成28年度以降の伊那市の基本方針が決まりました。

今後、ますます地域住民が支え合うとともに、行政との協働によるまちづくりをすすめていくことが重要であり、その根幹をなす地域自治体制度を引き続き維持強化していくために旧伊那市地域は現行の地域自治体を存続する方向が出されました。

また、各地域協議会がそれぞれが持つ地域の特徴を活かしつつ、地域の実情に即した、きめ細かな組織とするため、各協議会において組織及び運営に関する規約を定めることになりました。

また、委員の報酬は支給し延長してまで戦争法案成立を強行しようとしています。

いよいよ平和憲法の命を守る闘いの正念場です。

学者たちが、弁護士たちが、さらに演劇・文化人など多くの団体や個人が戦争法案反対の声を上げています。

自民党の長老たちまでもが、私は彼らの「戦争の悲惨さを知る自分たちが今言わなければ…」と立ち上った勇氣に感動しました。

6月7日に長野市で開かれた戦争法案に反対する県民大集会では、百歳のジャーナリストむのたけじさんが自らの子どもや女性を悲しませた戦争中の体験を語り、「女たちよ愛する男たちを戦場に送りだすな！男たちよ愛する女たちを悲しませるな！戦場に行くものがないこととし、予算の範囲内において地域協議会に対し、住民との協働による地域づくり活動に資する予算を配分することになりました。

協議の中で公民館長より公民館建設の要望についても市長と直接つながりのある地域協議会の意見はよく聞いてくれた、また他には区長公選の自治組織は慣行として市へ要望を出してきたが、地域協議会には条例等法に規定され強制力のある重要な組織であるなどの意見が出され手良では継続していく方向が決まりました。

また、手良公民館建設について説明があり、その他では前回出された要望の進捗状況

手良衛生自治会(向山和男会長)は6月12日に研修視察を行いました。

平口の午後でしたが各常会選出の衛生班長、保健委員、区長など16名が参加しました。

ごみと資源物の処理について理解を深め、地域での適切な分別収集を進めるため今回は近くの鳩吹クリーンセンター、伊那中央清掃センター、(株)信州ウェイストなどの衛生施設を視察しました。

それぞれに不燃ごみ、可燃ごみ、プラスチックなどを処理していますが、初めての人が多く、施設の中まで入って見ることが出来たので、自分の出したごみがどう処理されているかわかり、ごみの分別処理意識も高まったと思われました。

会長よりは今年一年身近なところから食べ残しを少なくするなどしてなるべくごみを減らす意識をもち、ごみ処理を身近に感じて今後の活動に活かしたいと話がありました。

このほど手良の地域協議会の本年最初の会議があった▼地域協議会は今までの経過の中で既存の自治組織が地域協議会の役割を果たしているなどいろいろ意見があったが、伊那市は審議会で審議され引き続き維持強化していく方向が出された▼会議の中で意見がいろいろ出され手良では継続していく方向が決まりました。手良地区は地域の要望は区長会が中心となつてまとめ市へ要望してきた。これは慣行として行われてきたもので、自治協議会のように条例等で規定された強制力があるわけではないと思われ▼地域にはいろいろと要望や要求があるが充て職の委員は担当している団体にも課題があり、地域全体まで目を向けるのは中々困難である。会議でもなかなか意見が出されない。せめて各団体の課題を発表しそれを全体が承知をして全体の認識にしていくことも大事ではないかと思われる▼今後、委員の報酬は支給しない方向のようであるがこれからは地域協議会に対して住民との協働による地域づくり活動に資する予算は配分される方向のようである▼せっかくなので地域協議会を地域の活性化のために有効に活用していかない手はないと思う。

安心・安全まちづくり責任者 大場美広

決められた国会の会期中に成立が危ぶまれてくる

と、7月末まで、いや8月中旬までだと会期を大幅に

延長してまで戦争法案成立を強行しようとしています。

いよいよ平和憲法の命を守る闘いの正念場です。

学者たちが、弁護士たちが、さらに演劇・文化人など多くの団体や個人が戦争法案反対の声を上げています。

自民党の長老たちまでもが、私は彼らの「戦争の悲惨さを知る自分たちが今言わなければ…」と立ち上った勇氣に感動しました。

6月7日に長野市で開かれた戦争法案に反対する県民大集会では、百歳のジャーナリストむのたけじさんが自らの子どもや女性を悲しませた戦争中の体験を語り、「女たちよ愛する男たちを戦場に送りだすな！男たちよ愛する女たちを悲しませるな！戦場に行くものがないこととし、予算の範囲内において地域協議会に対し、住民との協働による地域づくり活動に資する予算を配分することになりました。

協議の中で公民館長より公民館建設の要望についても市長と直接つながりのある地域協議会の意見はよく聞いてくれた、また他には区長公選の自治組織は慣行として市へ要望を出してきたが、地域協議会には条例等法に規定され強制力のある重要な組織であるなどの意見が出され手良では継続していく方向が決まりました。

また、手良公民館建設について説明があり、その他では前回出された要望の進捗状況

などの質問もありました。



手良衛生自治会

近頃の衛生施設を視察

手良衛生自治会(向山和男会長)は6月12日に研修視察を行いました。

平口の午後でしたが各常会選出の衛生班長、保健委員、区長など16名が参加しました。

ごみと資源物の処理について理解を深め、地域での適切な分別収集を進めるため今回は近くの鳩吹クリーンセンター、伊那中央清掃センター、(株)信州ウェイストなどの衛生施設を視察しました。

それぞれに不燃ごみ、可燃ごみ、プラスチックなどを処理していますが、初めての人が多く、施設の中まで入って見ることが出来たので、自分の出したごみがどう処理されているかわかり、ごみの分別処理意識も高まったと思われました。

会長よりは今年一年身近なところから食べ残しを少なくするなどしてなるべくごみを減らす意識をもち、ごみ処理を身近に感じて今後の活動に活かしたいと話がありました。

このほど手良の地域協議会の本年最初の会議があった▼地域協議会は今までの経過の中で既存の自治組織が地域協議会の役割を果たしているなどいろいろ意見があったが、伊那市は審議会で審議され引き続き維持強化していく方向が出された▼会議の中で意見がいろいろ出され手良では継続していく方向が決まりました。手良地区は地域の要望は区長会が中心となつてまとめ市へ要望してきた。これは慣行として行われてきたもので、自治協議会のように条例等で規定された強制力があるわけではないと思われ▼地域にはいろいろと要望や要求があるが充て職の委員は担当している団体にも課題があり、地域全体まで目を向けるのは中々困難である。会議でもなかなか意見が出されない。せめて各団体の課題を発表しそれを全体が承知をして全体の認識にしていくことも大事ではないかと思われる▼今後、委員の報酬は支給しない方向のようであるがこれからは地域協議会に対して住民との協働による地域づくり活動に資する予算は配分される方向のようである▼せっかくなので地域協議会を地域の活性化のために有効に活用していかない手はないと思う。

安心・安全まちづくり責任者 大場美広

決められた国会の会期中に成立が危ぶまれてくる

と、7月末まで、いや8月中旬までだと会期を大幅に

延長してまで戦争法案成立を強行しようとしています。

いよいよ平和憲法の命を守る闘いの正念場です。

学者たちが、弁護士たちが、さらに演劇・文化人など多くの団体や個人が戦争法案反対の声を上げています。

自民党の長老たちまでもが、私は彼らの「戦争の悲惨さを知る自分たちが今言わなければ…」と立ち上った勇氣に感動しました。

6月7日に長野市で開かれた戦争法案に反対する県民大集会では、百歳のジャーナリストむのたけじさんが自らの子どもや女性を悲しませた戦争中の体験を語り、「女たちよ愛する男たちを戦場に送りだすな！男たちよ愛する女たちを悲しませるな！戦場に行くものがないこととし、予算の範囲内において地域協議会に対し、住民との協働による地域づくり活動に資する予算を配分することになりました。

協議の中で公民館長より公民館建設の要望についても市長と直接つながりのある地域協議会の意見はよく聞いてくれた、また他には区長公選の自治組織は慣行として市へ要望を出してきたが、地域協議会には条例等法に規定され強制力のある重要な組織であるなどの意見が出され手良では継続していく方向が決まりました。

また、手良公民館建設について説明があり、その他では前回出された要望の進捗状況

手良衛生自治会(向山和男会長)は6月12日に研修視察を行いました。

平口の午後でしたが各常会選出の衛生班長、保健委員、区長など16名が参加しました。

ごみと資源物の処理について理解を深め、地域での適切な分別収集を進めるため今回は近くの鳩吹クリーンセンター、伊那中央清掃センター、(株)信州ウェイストなどの衛生施設を視察しました。

それぞれに不燃ごみ、可燃ごみ、プラスチックなどを処理していますが、初めての人が多く、施設の中まで入って見ることが出来たので、自分の出したごみがどう処理されているかわかり、ごみの分別処理意識も高まったと思われました。

会長よりは今年一年身近なところから食べ残しを少なくするなどしてなるべくごみを減らす意識をもち、ごみ処理を身近に感じて今後の活動に活かしたいと話がありました。

このほど手良の地域協議会の本年最初の会議があった▼地域協議会は今までの経過の中で既存の自治組織が地域協議会の役割を果たしているなどいろいろ意見があったが、伊那市は審議会で審議され引き続き維持強化していく方向が出された▼会議の中で意見がいろいろ出され手良では継続していく方向が決まりました。手良地区は地域の要望は区長会が中心となつてまとめ市へ要望してきた。これは慣行として行われてきたもので、自治協議会のように条例等で規定された強制力があるわけではないと思われ▼地域にはいろいろと要望や要求があるが充て職の委員は担当している団体にも課題があり、地域全体まで目を向けるのは中々困難である。会議でもなかなか意見が出されない。せめて各団体の課題を発表しそれを全体が承知をして全体の認識にしていくことも大事ではないかと思われる▼今後、委員の報酬は支給しない方向のようであるがこれからは地域協議会に対して住民との協働による地域づくり活動に資する予算は配分される方向のようである▼せっかくなので地域協議会を地域の活性化のために有効に活用していかない手はないと思う。

安心・安全まちづくり責任者 大場美広

決められた国会の会期中に成立が危ぶまれてくる

と、7月末まで、いや8月中旬までだと会期を大幅に

延長してまで戦争法案成立を強行しようとしています。

いよいよ平和憲法の命を守る闘いの正念場です。

てらのもと

このほど手良の地域協議会の本年最初の会議があった▼地域協議会は今までの経過の中で既存の自治組織が地域協議会の役割を果たしているなどいろいろ意見があったが、伊那市は審議会で審議され引き続き維持強化していく方向が出された▼会議の中で意見がいろいろ出され手良では継続していく方向が決まりました。手良地区は地域の要望は区長会が中心となつてまとめ市へ要望してきた。これは慣行として行われてきたもので、自治協議会のように条例等で規定された強制力があるわけではないと思われ▼地域にはいろいろと要望や要求があるが充て職の委員は担当している団体にも課題があり、地域全体まで目を向けるのは中々困難である。会議でもなかなか意見が出されない。せめて各団体の課題を発表しそれを全体が承知をして全体の認識にしていくことも大事ではないかと思われる▼今後、委員の報酬は支給しない方向のようであるがこれからは地域協議会に対して住民との協働による地域づくり活動に資する予算は配分される方向のようである▼せっかくなので地域協議会を地域の活性化のために有効に活用していかない手はないと思う。

(T)

組合員世帯数約38%

医療生協支部総会

上伊那医療生協手良支部の総会が5月24日にあり、昨年度の活動の報告と、本年度の活動を決めました。

4月から介護保険が改定になっているので生協相談センターあおほの野口志保さんよの話を聞きました。

また新規事業等の説明では近隣の長谷に上伊那医療生協の宅幼老所が今年の秋オープンで改築工事を進めているとの話がありました。

現在手良支部では医療生協の組合員は組合員数で405名、組合員世帯数は290戸で全世帯数の37.93%になります。

昨年度は健康チェックの班会は14回行い149人が参加しました。

中坪老人クラブ、中坪班、野口班、竹ノ内班、堀之内、郷之坪班は年3回以上行ったので報奨券を受けました。

街角健康チェックはJA手良支所祭に行い42名の人が受診しました。動脈硬



医療生協支部総会

化検査班会は3回行い18名が参加しました。その他施設入所の相談も受けました。

本年度もまた年2回以上の健康チェック班会、JA手良支所祭の街角健康チェック、動脈硬化検査班会、映画「望郷の鐘」上映普及、相談活動などを行っていきます。

吟行行われる 井上井月を偲ぶ句会

手良公民館と「井上井月を偲ぶ句会 共催の「吟行」は5月27日に美鷹草原の井上井月顕彰会館周辺で行い6人が参加しました。

気温は30度を超す暑さでしたが参加者は周辺を散策し木の下や池の端で思い思いの句を詠みました。

をぬる人、それぞれの担当者が頑張るって無事に五平餅が出来上がった。

経験者揃い、高齢者の腕はまだまだだ、昔こったなんとか、六升の御飯があった。と言つ間に五平餅になり驚いた。

胡麻味噌、山椒味噌、ク

部屋の中で考えるよりは散策してものをもよく見て創ると良い句ができました。

助言者の俳人春日愚良子先生よの「俳句は客観的に事実だけを述べ頭で解釈してはいけない」などの助言がありました。当日の俳句の一部は

- ・風香り早月の空に小鳥鳴く
- ・トンボ来てついでと止まれる
- ・トクサかな
- ・山の池築園にしてとんぼ遊ぶ
- ・大木のこどもみの白煙さぬ
- ・春ぞみの水面に鳴いて返し

いる

バラ園を幾回りして出口なし



吟行合評会

保育園で草たんぽぽ作り

「あいの会」では6月2日、保育園から依頼があり、草たんぽぽ作りのお手伝いに3人で行って来ました。

美味しい、おいしいと暫くのあいだお喋りが途絶えた会場もやがて賑やかに作り、開口一番、やっぱり手作りの五平餅は美味しいと喜ばれた。

今では、家庭で作る事も少なくなつたので、この行事は楽しみたいと、

飲んで、歌って、満腹食べて、最高の一日があつた

あいの会



陣馬形山へ

野草教室

手良公民館主催の本年度第1回目の野草教室が5月22日行われ21名が参加しました。

今回は「陣馬に伊那の絶景を訪ねて」と題して中川村の陣馬形山(標高1443m)までバスで行って来ました。

道々、針えんじゅやうつぎなどの白い花が目につきました。

講師の柄山祐希さんは九十歳と四ヶ月といわれましたがかくしゃくとしておりお元気でした。

バスから眺めながら目にする樹木やその地の歴史を、歩きながら路傍の草木の名前や由来を博学多識に語ってくれます。

段丘崖に林の帯のグリーンベルトがあるのが伊那谷の特徴であることとか、太平洋戦争の末期、飛び立つ特攻隊員が空から蒔いた種子が黄色の花を咲かせたオキンケイギクは「特攻花」と呼ばれる事なども話されました。

箕輪町出身の歌人でもある藤澤古見について詳しく絶えず歌を詠んでくれました。



野草教室

中坪公民館で絵手紙教室やっています



小松栄子

連絡先 高橋 7810943

陣馬形山の頂上からは伊那谷一円が展望出来、先生の指揮でみんな「千の風になつて」を歌いました。

5年生がお田植え

手良小学校5年生25人が5月25日に学校南側の田んぼでお田植えを行いました。これはJA青壮年部手良支部が子供たちに米のことをわかってもらおうと計画した「お米の学習教室」の一環として行われたものです。

青壮年部員は現在11名いますがこの日もJAの職員や部員の指導により子供たちは1.5畝の水田にコシヒカリ(うるち米)とコカネモチ(もち米)の苗を植えました。



バードウォッチング

清水庵周辺でバードウォッチング

手良公民館主催の本年度第1回目の親子自然教室「バードウォッチング」は5月24日に中坪の清水庵周辺で行われ親子十数名が参加しました。

東春近の細田文和先生の指導により行われました。ウグイス、カラス、アオバト、ヤマガラス、ヒヨドリの声を聞き見ることが出来ました。

先生はユーモアも交えて気楽に話され、山へ行つて



お田植え

無農薬栽培なので今後子供たちは手押し除草機を使って除草を行い稲の生育を待ちます。

生活雑記

135

五平餅

小松和江

高齢者クラブの最大行事、五平餅会を会員全員で作る一日を楽しんだ。

味噌をつくる人、五平餅をつくる人、焼く人、味噌

れ、最高の一日があつた

美味い、おいしいと暫くのあいだお喋りが途絶えた会場もやがて賑やかに作り、開口一番、やっぱり手作りの五平餅は美味しいと喜ばれた。

今では、家庭で作る事も少なくなつたので、この行事は楽しみたいと、

飲んで、歌って、満腹食べて、最高の一日があつた

短歌

九十路の媪

高橋きんよ

都立の山深き地に移り来て憧れたつたと語る老夫妻
四歳の女孫(めまこ)はピンクの色が好き着ているわれに
「はあちゃんかわいい」
訪ふ度この生きさまを見せける九十路の媪の明るき笑顔
「人からねやとこを貰つたら心に貯金をするの」と100歳
の「柴田トヨ子」
国民を幸せにするこゝろを政者の美し過ぎる言葉が気になり

(おねがい)

身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思ひます。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。

七八一〇九四三 高橋